

甲奴郡酪農組合

十二月十七日 東部倉庫

産前産後の「事故防止対策」

九つのポイントを紹介

甲奴郡酪農組合(組合長 道田稔弘)は、勉強会を企画し、担当の茨木宏士氏は、府中家畜診療所の岡本誠獣医師を講師に招き、「産前産後の事故防止対策」をテーマに研修会を開催した。広酪からは経営支援課の上富士課長補佐が運営にあたり、会員他十二名が参加された。

岡本獣医師は、①乳房炎の乾乳治療(乾乳前から治療を始める・乾乳開始から二週間と分娩予定二週間はデ IPPING をする)、②産前の乳房炎の管理(分娩前に乳汁の確認)、③乾乳牛のボディコンディション(泌乳後期に体型を整える)、④ルーメンフィスコア(スコア三以上が良い)、⑤乳熱の予防(カルシウムが不足すると乳熱・第四胃変位・胎盤停滞・子宮脱が起きるため産前産後にカルシウムを投与)、⑥分娩房を設置して自然分娩を心がける、⑦分娩異常の判断(陣痛間隔が延びる・陣痛がなくなる)、⑧難産介助(前肢と後肢を確認し逆子の場合、子牛の尻を押し向きを変える)、⑨初乳の給与(自力哺乳が可能になってから初乳を給与六時間以内)と九項目に分けてポイントを紹介された。

参加会員からは、逆子の分娩介助の具体的な手法の伝授を求めて質問があり、

岡本獣医師からは、陰部開帳部に手を入れ、後脚を子牛のおしりを押し込むように回転させ、前脚を陰部開帳部側に引き寄せる手法をもって正常分娩をさせる手法に関してジェスチャーを交えての説明に会員は納得顔の様子であった。この他、子宮脱の治療方法として、従来一升瓶を活用する手法が良いと

法が良くとされていたが、瓶の破損の懸念から、昨今では、野球の金属バットが好ましいとの説明が加えられた。

参加会員からは、今回の研修は大いに参考になったと満足の様子であった。



庄原メンバーズクラブ

十二月十八日 伍楽荘ボウル

ボウリングと親睦

庄原メンバーズクラブ(市川勝敏、吉森美明共代表)は、親睦交流のため、ボウリング大会と親睦会を開催し、庄原地区内の若人五名と広酪から藏崎哲治課長(生産振興課)が参加した。

市川勝敏代表からの挨拶を後に、二ゲームを行い、吉森美明氏が優勝。二位には藤本雄紀氏、三位は赤木靖氏となった。

その後は、会場を「かんぼの郷庄原」に移しての懇親会では、酪農に関する情報をメインに意見交換が行われた。



西部楽酪会

十二月七日 八剣伝・千代田店

若き酪農家の集い 「つながり」から将来展望

西部楽酪会(会長 吉川栄樹)は、会員十四名の他、広酪から加藤祐一主任(経営支援課)が参加しての情報交換会を開催した。年末ともあって、互いに一年間の労を労いながらの情報交換で、吉川会長より「二年間、お疲れ様でした。今日は、しっかり鋭気を養って下さい。」との開会挨拶の後、福原務監事の乾杯発声から開会となった。

久しぶりの会合で話は盛り上がり、今後の酪農を担っていく若い世代が多く集まったことも

あって、中販連で現在検討中の会員統一格差金体系設定に関する考え方への意見交換のほか、乳価値上げへの期待感が語られ、「国民生活の必需品としての牛乳は、今後も必ず残って行く分野だ。そのために生き残る手法をどの様にしていけば良いか」、「徐々に高齢化や後継者不足による仲間が減っていく不安の中で、このつながりを深め、みんなで乗り切れるよう頑張りたい」等、時間を忘れて熱く討論された。

その話題の中では、今後、中販連の会員間の統一予定の格差金体系に関しての関心が多く寄せられていた。